

記入例

<実験廃液処理依頼票>				・違う容器で同じNo.を使用しない	
〇〇〇	系・センター	研究室名	〇〇〇研究室	処理依頼年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日
排出源整理No.		整理No.		電話番号	〇〇〇〇
				貯留記録台帳No.	〇〇〇〇-1
この実験廃液は下記内容に相違ありません。排出責任を負いますので、処理方お願いいたします。排出責任者氏名 〇〇 〇〇 印					

内 容 物 の 明 細		成 分 の 割 合	分 類
成 分 の 名 称			
酢酸エチル	廃液中に含まれる物質は全て記入すること (微量成分も分かる範囲で)	11.0%	E I
アセトン		17.0%	
メタノール		22.0%	量
エタノール		33.0%	
THF	商品名・略称・化学式での記入は避けること	11.0%	18.0L
DMF		6.0%	

発生の経緯取扱の注意事項など

処理申込
容器ごとに「実験廃液処理依頼票」を作成する。依頼票は3部作成し、
①容器貼付(ボリ容器にガムテープで貼付する)
②施設管理課へ提出
③排出源控え(排出記録として、5か年保管)とする。

記入上の注意
・排出者は楷書で姓名をはっきり署名すること
・商品名・略称・化学式での記入は避けること

容器保管場所

〇〇棟 廃液保管庫

pH

水溶液は必ずpHを記入すること

<実験廃液分別貯留記録台帳>				処理依頼年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日	台帳No.	〇〇〇〇-1	
貯留区分 (当該区分を〇で囲む)	無機系廃液	A 水銀系廃液	B シアン系廃液	C フッ素系廃液				
		D I 重金属系廃液	D II 酸系廃液	D III アルカリ系廃液				
	有機系廃液	E I 炭化水素系廃溶剤	E II 廃油					
		F I ハロゲン系廃溶剤	F II 難燃性有機廃液	F III フッ素系廃溶剤	F IV 写真廃液			
〇〇〇	系・センター	容器番号			取扱管理責任者	〇〇 〇〇	印	
研究室名	〇〇〇研究室	電話番号	〇〇〇〇	排出責任者	□□ □□	印		

<発生の経緯>

年月日	内容物質(危険物は赤丸)	投入量(L)	濃度(g/L)	投入者氏名	備考(危険物質の表示・経緯等)
H00.00.00	酢酸エチル	2		〇〇 一郎	
H00.00.00	アセトン	3		〇〇 二郎	
H00.00.00	メタノール	4		〇〇 三郎	廃液を投入する都度、投入者
H00.00.00	エタノール	6		〇〇 四郎	
H00.00.00	THF	2		〇〇 五郎	
H00.00.00	DMF	1		〇〇 花子	

排出前のチェック

- 容器は破損していないか
- フタ(パッキン)は破損していないか
- 液量は適正か
- 廃液分類と容器の色は合っているか

提出先

- ・排出にて保管
- ・取扱管理責任者に提出
- ・施設管理課へ「実験廃液処理依頼票」と共に提出

記入上の注意

- ・排出者は楷書で姓名をはっきり署名すること
- ・廃液を投入する都度、投入者本人が記入すること
- ・商品名・略称・化学式での記入は避けること